



梶田の里

八王子市立梶田中学校

令和7年3月25日

学校だより No.13

〔教育目標〕○進んで学習する人になろう ○仕事に精を出す人になろう ○心身ともに健康で思いやりのある人になろう

～修了式講話～

校長 関山 一樹

先週行われた卒業式では、皆さんの先輩である3年生が、3年間の成長が感じられる見事な卒業式をやり遂げました。皆さんも、音楽祭はもちろん、この1年間に様々なことを経験して成長しましたね。今日は卒業式で伝えた内容を一部、皆さんに紹介します。

『突然ではありますが、皆さん「当たり前」の反対語は何か分かりますか？「当たり前」とは常に起こりえること。その反対語は何と「ありがとう」となります。漢字で書くと「有ることが難しい」と書いて「有難う」となります。何事も「当たり前」と思ってしまう心からは、不平不満ばかりとなってしまう、「有難う」という感謝の気持ちは生まれません。この「有難う」は「21世紀に残したい言葉ランキング」で一位に選ばれているそうです。皆さんはこの「有難う」という言葉を、この3年間で何度発したでしょうか？また、「有難う」と仲間と言われることが何度あったでしょうか？誰にでも簡単に言える「有難う」。そして、言われた時には心が温まる大きな力をもつ「有難う」。仲間への気遣いを、いつも大切にしていた皆さんでしたから、会話の中で数えきれないほどの「有難う」があったかと思います。ぜひ、今後の人生においても、大切な言葉の一つとしていただきたいと思います。』

次に皆さんが集まる時は新年度の始業式です。それぞれ、3年生は最上級生、2年生は中堅学年と呼ばれることになります。ぜひ、団結と協力、そして「有難う」を大切に、来年度もあいさつと笑顔があふれる学校を創っていきましょう。みなさんの活躍を期待しています。よい春休みを過ごしてください。



保護者のみなさま

この一年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。来年度も、変わらぬご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。